

半切四分の一に書く(12)

締切り 十二月二十日(必着)



神谷葵水先生書

◎本誌に条幅(半切)の課題が正式に設置されたのは、平成十一年七月のことです。その前の約八年間は、半切への足がかりとして半切四分の一のサイズ(約六八cm×一七、五cm)で条幅の基礎を学んでまいりました。

◎このコーナーでは、元愛知教育大学名誉教授・神谷葵水先生の当時のお手本をもとに、改めて条幅の基礎を学びます。

※一年間学んできた「半切四分の一に書く」は、今月で一まず終了し、来年は「色紙に書く」がスタートします。お楽しみに！

〔読み〕落日^{らくじつ}照^{せい}青苔^{せいはい} (皇甫冉^{こうぼうぜん})

〔大意〕夕陽が青苔(あおいこけ)を照らしている。

〔解説〕

・用紙に五文字をバランスよく収めることが大切です。行の中心、字間、天地のあき等に注意しましょう。紙を折る、下敷の罫を利用する等の方法もあります。

・お手本をよくみると、各字に大小の違いがあることがわかります。潤渇も考えてみましょう。その方が動きやリズムが出て、表現が豊かになります。

・できる方は、書体や崩し方を変換してオリジナルな作品に挑戦して下さい。その際、字典でしっかり調べることが肝要です。

・落款(署名・印)も作品の一部です。丁寧に収めましょう。

〔作品の出し方〕

▼毛筆部Ⅱ条幅半切四分の一(約六八cm×一七、五cm)に書いて下さい。

▼硬筆部ⅡB5判(二五七mm×一八二mm)以下の紙に課題手本のような枠線を引いて下さい。用具は自由ですが、細い線は相応しくありません。(フエルトペン・筆ペン可)

▼出品制限の対象とはしませんので、どなたでも出品できます。ただし出品は硬・毛のどちらか一方に限ります。

▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・毛筆漢字の成績(硬筆の場合は硬筆規定の成績)を、作品余白にお書き下さい。

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位は発表はしません。

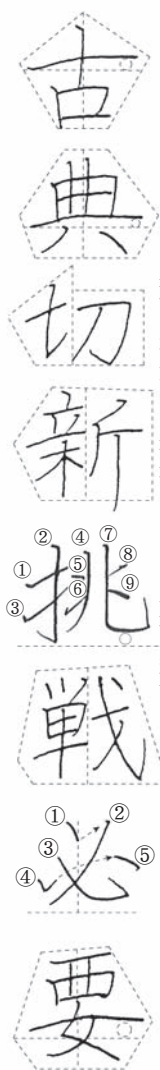
一般部規定課題

締切り 12月20日(必着)

準初段から六段まで

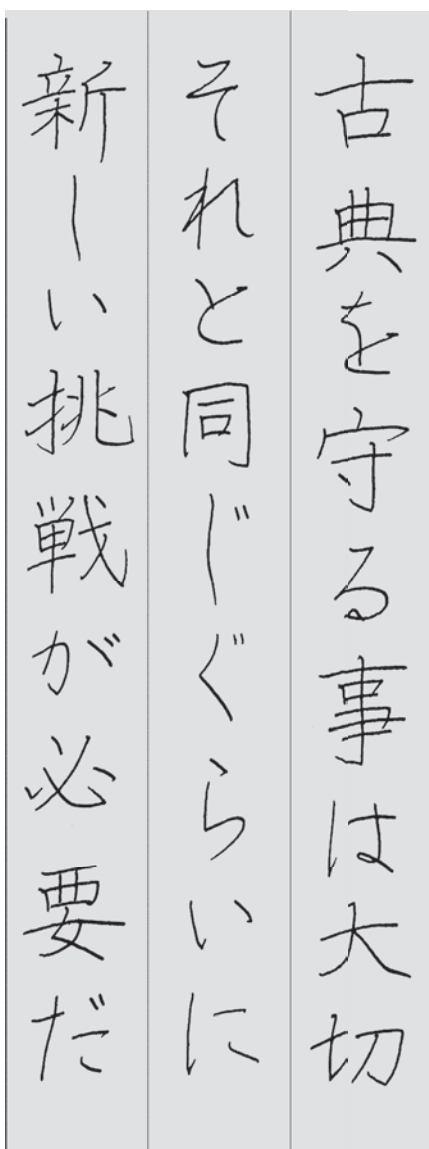
新入から1級まで

〔解説〕



◎今月は楷書。手本をよく観察する目習いが大切で、その進歩は遅々として急に上達を望めるものではないが、正確に根気よく精進するのが上達の秘訣です。

▶教範・書範は右課題を「行草または草書」で、師範は「行書」で出書して下さい。



おか だ りゅう ほう 書
岡 田 龍 芳 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

〔解説〕



おお たに せい じょう 書
大 谷 清 城 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

- ◆1月課題予告（行書）
剛毅の志によりて
地球上何事にも
なし得うるべし
- ▼教範・書範＝楷書
- ▼師範＝行草または草書

★古典を：（書体＝楷書）
十八代目中村勘三郎（一九五〇～二〇一三）
歌舞伎俳優
この言葉は、「保存するばかりじゃ、本
当に遺産になっちゃうでしょ」と続きま
す。芸術を始め、何代も継承されるもの
はすべて、遺されたものを守ると同時に、現
代の人々の琴線に触れる新鮮さを追求しな
ければ、発展はないでしょう。

- ◆1月課題予告（楷書）
賢者は
長い耳と
短い舌を持つ

★世に生：（書体＝行書）
坂本龍馬（一八五〇～一八六八）
幕末の志士 海援隊隊長
人がこの世に生まれてくるのは何かを成
し遂げるためだという。日本を大きく動か
した坂本龍馬らしい言葉です。
どんなことであれ、人それぞれに目標を
もって生きることが、人生を意義深いもの
としてくれることは間違いありません。

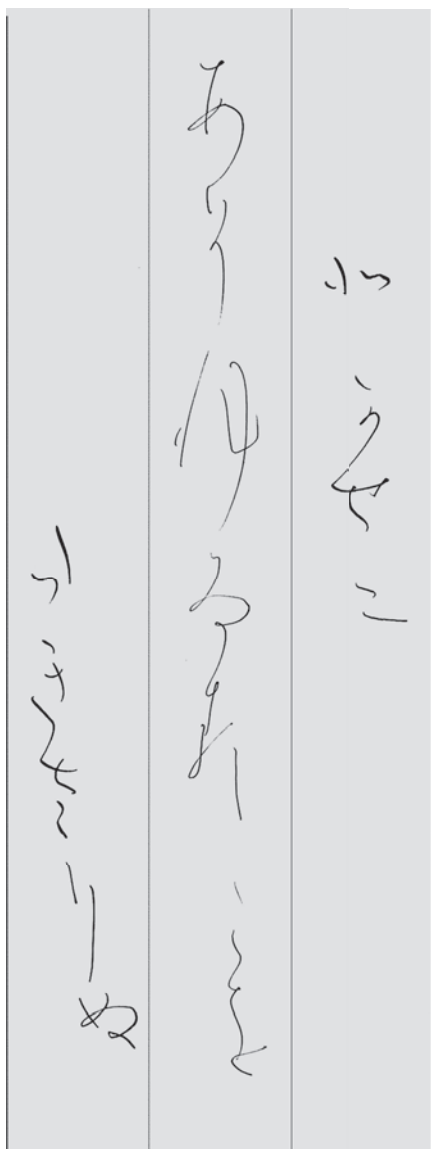
一般部かな課題

締切り 12月20日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

北風^{可せ二あ曾非}に遊び^{類こ}る子を抱^多き去^左りぬ



おお みや しゅん ちょう
大 宮 春 兆 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

北風^日に遊び^多る子を抱^支き去^さりぬ



おお みや しゅん ちょう
大 宮 春 兆 書

▷用具=自由(黒色に限る)

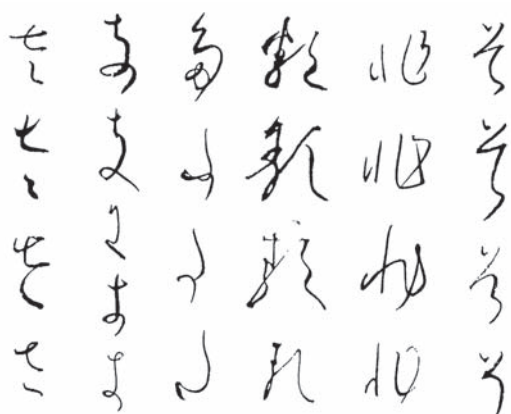
▷用紙=本会級位用紙

◆1月課題予告

大仏^{だいぶつ}の冬^{ふゆ}日は山^{やま}に移^{うつ}りけり

(星野^{ほしの}立子^{たちこ})

左^さ 支^し 多^た 類^る 非^ひ 曾^そ



〔古筆参考〕

北風^{きたかせ}に遊び^{あそ}る子を抱^だき去^さりぬ
(長谷川^{はせがわ}かな女^{じよ})

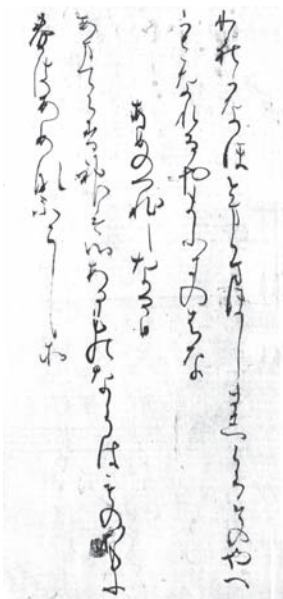
〔句意〕風邪^{かぜ}をひきやすい子なのであろうか。今まで北風の吹きすさぶ中で、友達と元気に遊んでいたわが子を、いとおしむように抱きかかえて、母親が立ち去ったことである。

一般部かな課題

師範・教範・書範

〔古筆参考〕

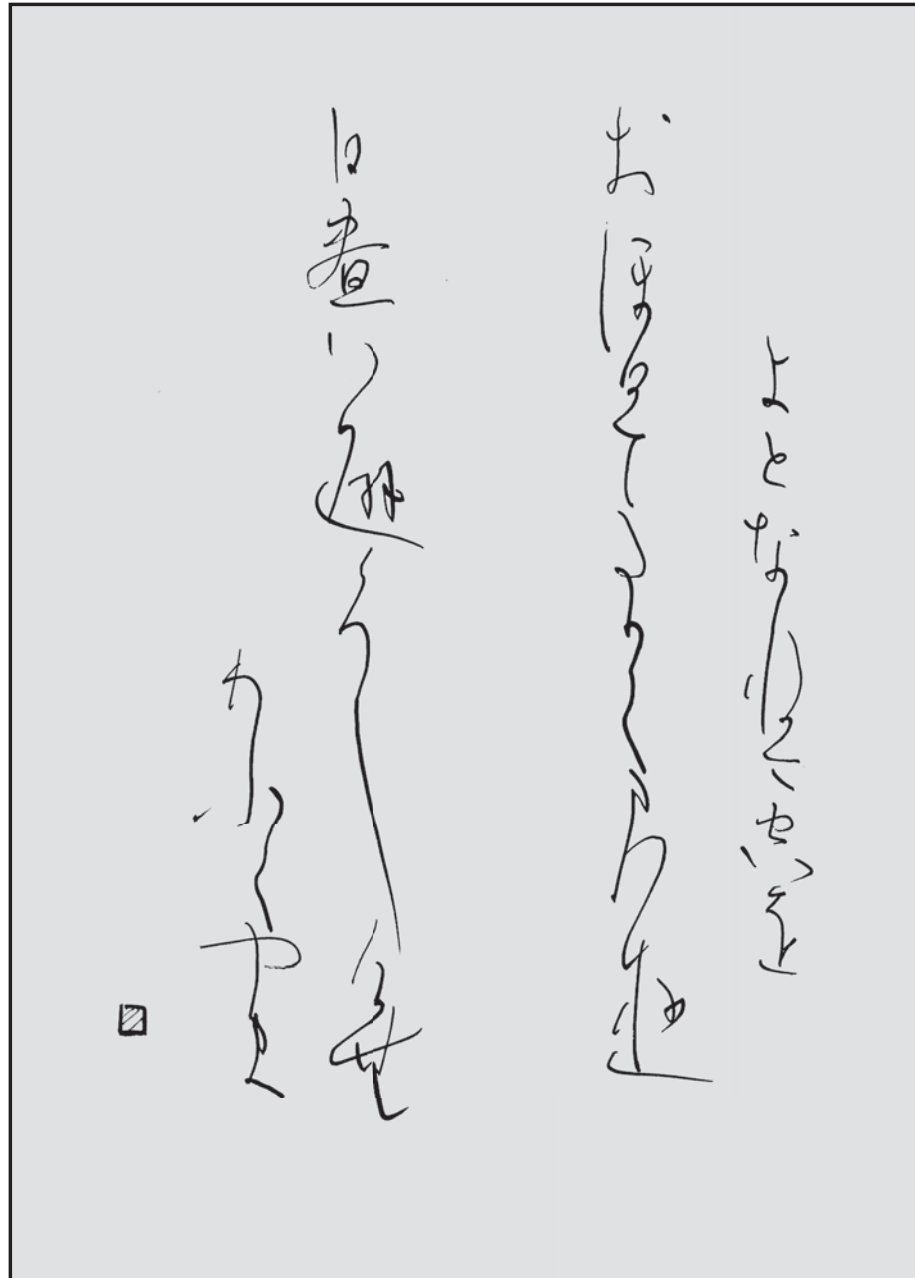
いずみしき ぶそくしゅうぎれ
和泉式部統集切



われかなほとまらまほしきしらくものやへ
かさなれるやまふきのはな
あめのつれくなるひ
あまてらす神も心あるものならはものおもふ
春はあめなふらしそ

締切り 十二月二十日（必着）

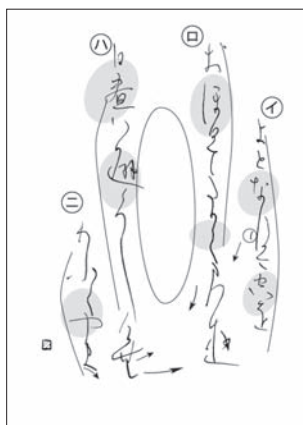
築瀬舟香書



夜となればそらを掩ひて高く見ゆ
白昼は低しけむり噴く山

〔歌意〕夜になると、暗い空にそびえる山とその山から吹き上げる煙が、空を覆っているようにも見え、山はいよいよ高く見える。けれども、白昼に眺めてみると周りの山に比べて低いようにも見える。あの煙を噴いている浅間山は。

〔出典〕名歌即訳 若山牧水
〔解説〕



①と②、①と③、②と④、②と⑤、それぞれ呼応。

● 行の密の動き大切。

● 方向大切。

● 大きな間大切。

● 意連・運ペンのリズム大切。

※作品は形だけを書くのではなく線のリズムを書くものだと思います。

◆1月課題予告

梅が香にたぐへて聞けばうぐひすの
声なつかしき春の山里（山家集）

実 用 文
のページ

は が き 課 題

おく だ み くも
奥 田 三 雲 書

締切り 12月20日(必着)

自由課題

- ◆ 今月は、文章も自由といたします。
- ◆ 皆さんのアイディアを生かして自由
に創作して下さい。
- ◆ バラエティに富んだ、個性豊かな
年賀状をお待ちしています。

迎新春

悲しい災害ニュースが続いた昨年に
変わり、本年はうれしい便りが
多い事を願っております。
ひつじの年元旦

迎
新
春
悲しい災害ニュースが続いた昨年に
変わり、本年はうれしい便りが
多い事を願っております。
ひつじの年元旦
若草萌子

横 書 き 課 題

お 郷 すい こう
尾 郷 翠 光 書

ディズニーは、商業美術家をへて
ミッキーマウスで一躍人気を得た。

佐賀県嬉野市 氏 名

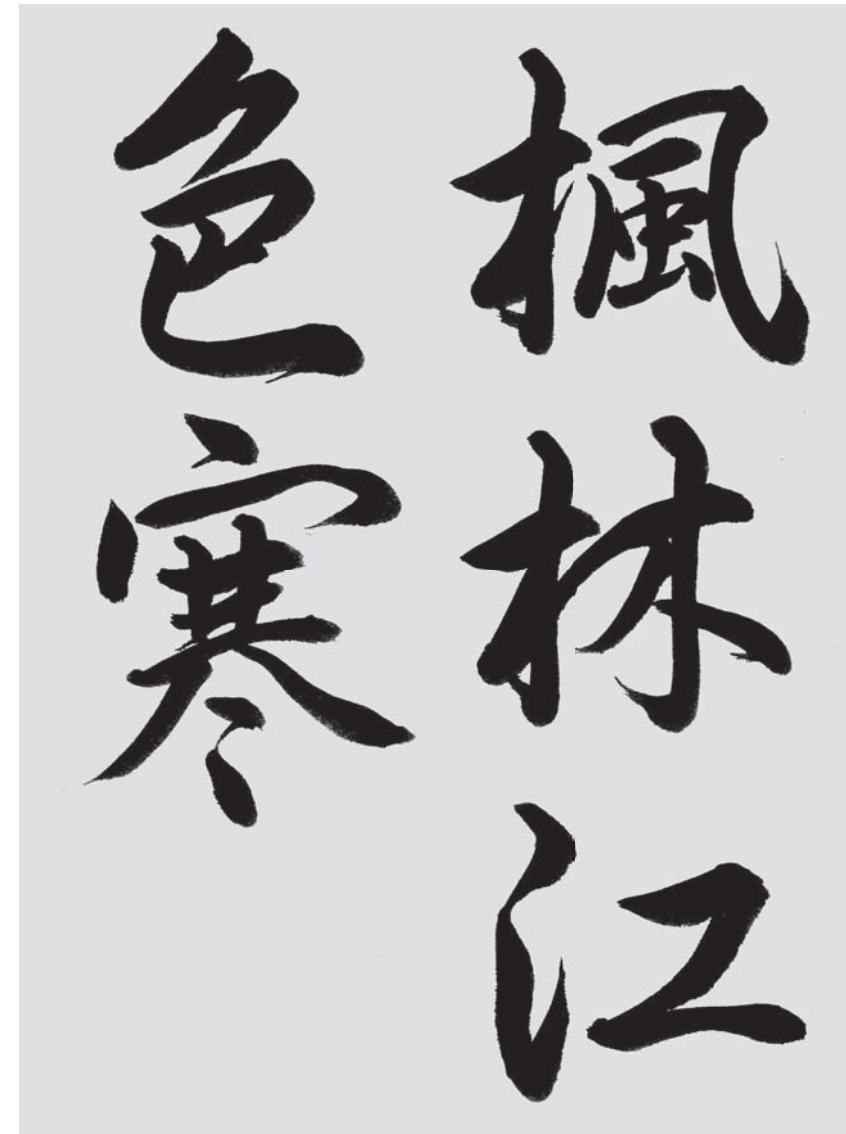
※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 12月20日(必着)

新入から1級まで(行書)

須田一葉書

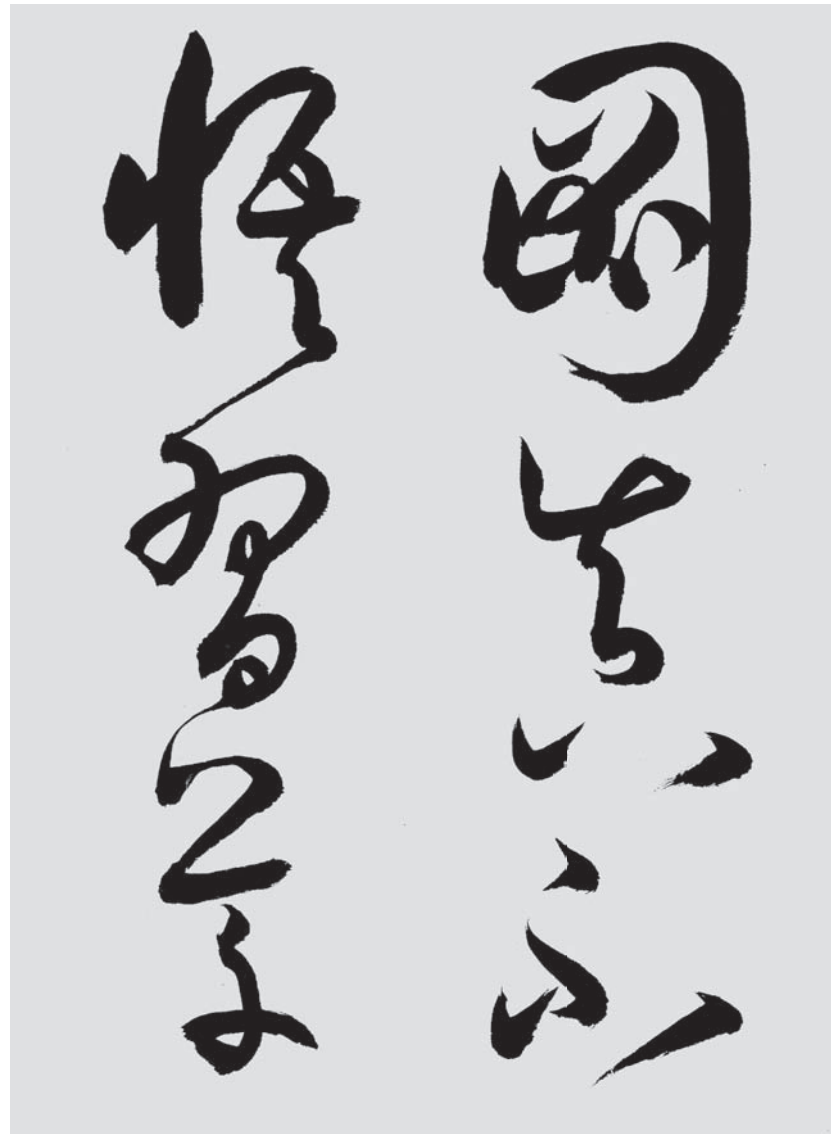


〔読み〕ふうりんこうしょくさむし 楓林江色寒し

〔大意〕水のほとりの楓林も寒々とした冬の景色である。

準初段から師範まで

奥村暢之臨



〔出典〕書譜(687)〔筆者〕孫過庭(649?~688?)

〔読み〕真を図して悟らず、草を習いて

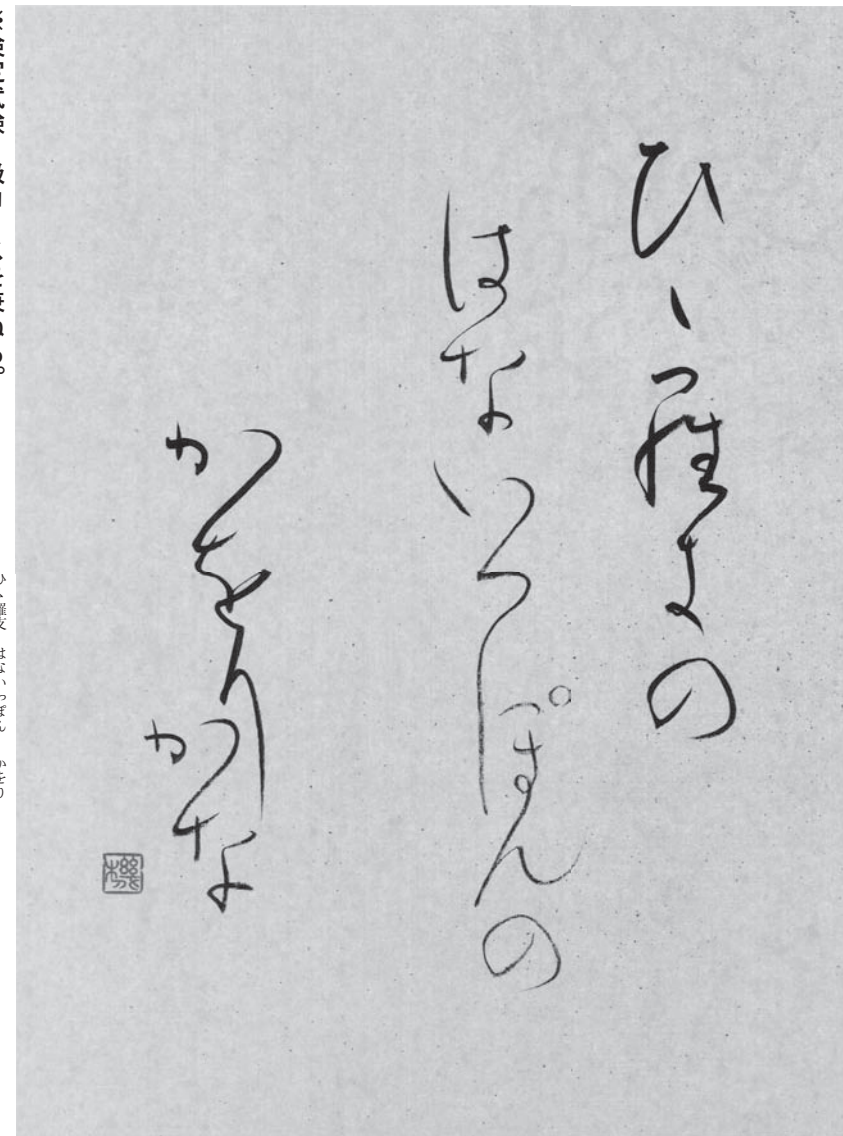
圖
眞
不
悟
習
草

一般部毛筆かな課題

締切り 12月20日(必着)

新入から1級まで

浅井機山先生書



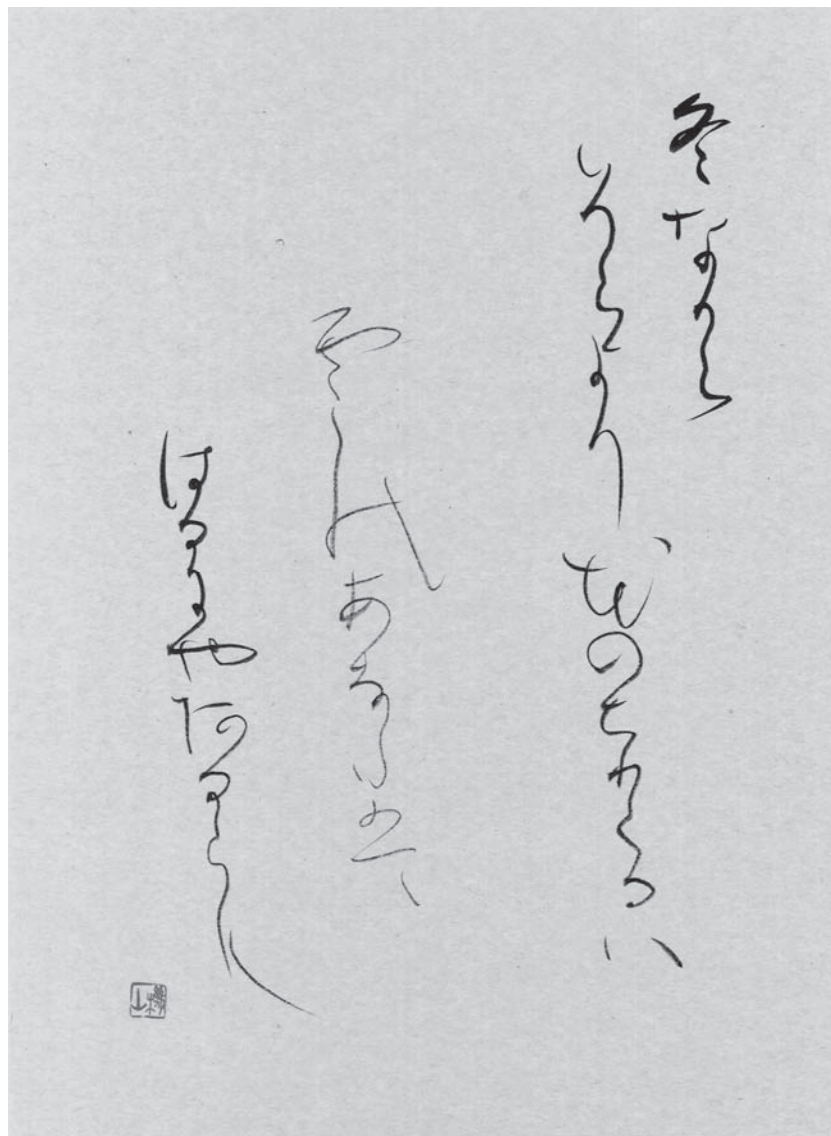
〔出典〕 高野素十 (たかの すじゅう)

〔句意〕 冬の一本の花の香のゆかしさを詠んで品格のある句。

※検定試験1級コースを兼ねる。

準初段から師範まで

■ 両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。
ひ、羅文 柊の花一本の香かな



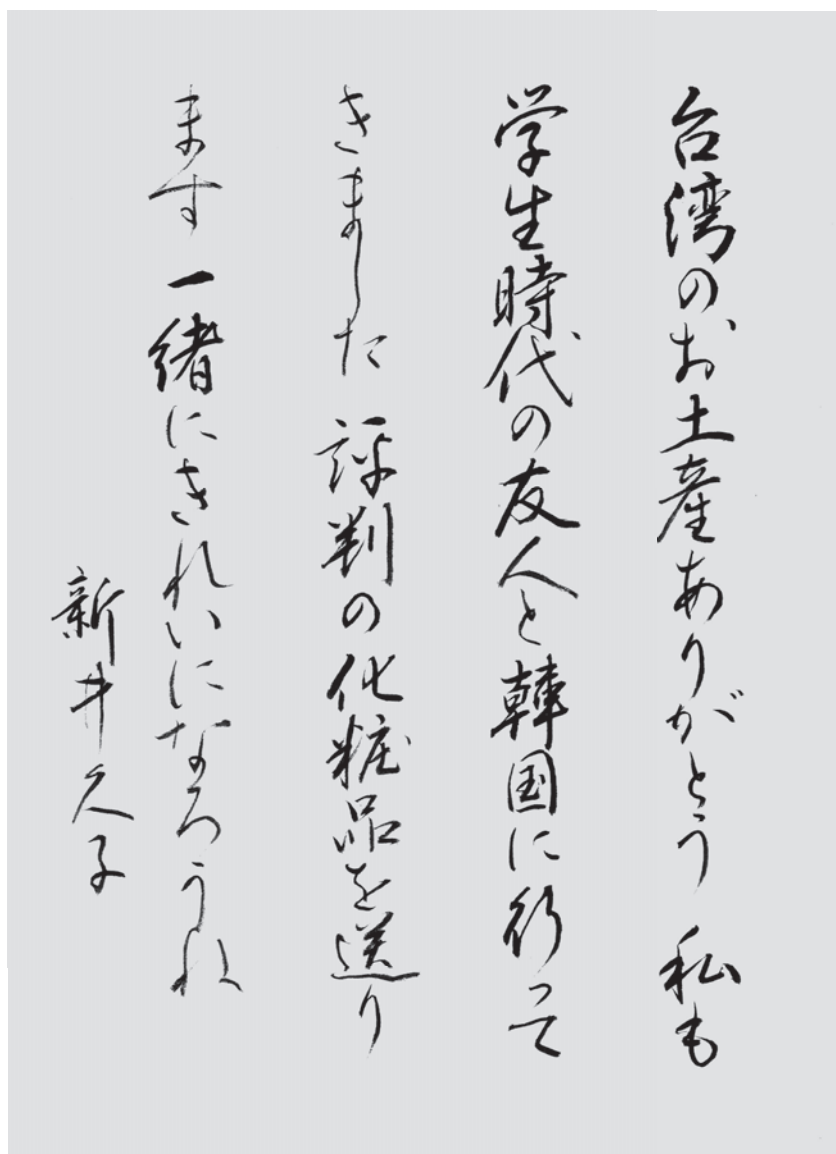
〔出典〕 清原深養父 (きよはらの ふかやぶ)

〔歌意〕 いまだ冬というのに空から花が散ってくるのは雲の向こうは春なのだろうか。

※検定試験三段コース以上を兼ねる。

冬ながら空より花の散りくるは雲のあなたは春にやあるらむ
可 曾 能 奈 多 盤 是 爾 阿 无

一般部毛筆細字課題

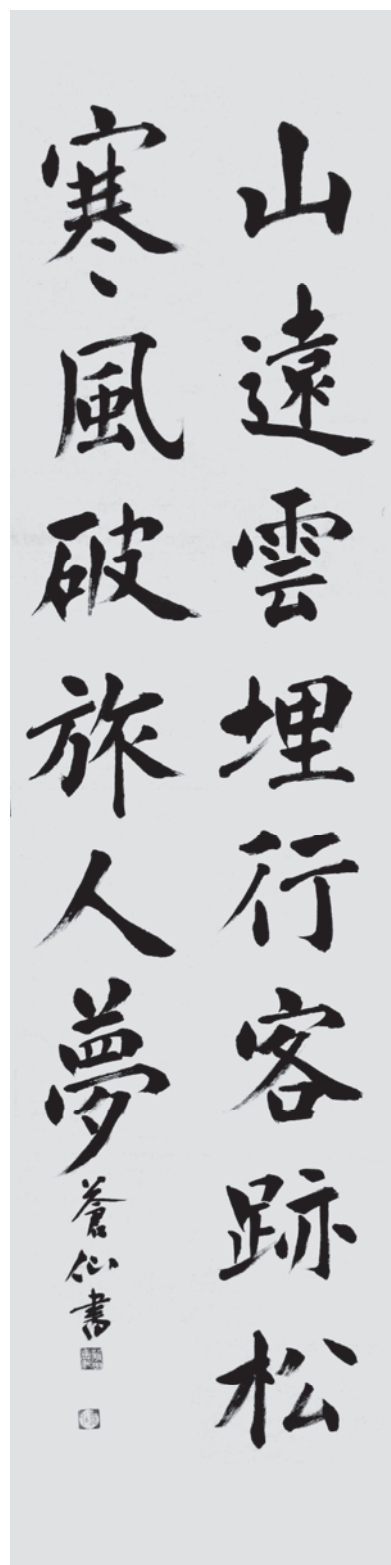


半紙 (334 mm × 240 mm)

樋田玲華 書

※検定試験三段コースを兼ねる。

一般部毛筆条幅課題



締切り 十二月二十日 (必着) 半切 (一三六 cm × 三五 cm)

萩田蒼仙 書

山遠雲埋行客跡
松寒風破旅人夢
〔大意〕山はどこまでも遠く、見上げれば旅人である自分が通ってきた道は雲に隠されて見えない。松は寒々と立ち、風に鳴って旅寝を妨げている。
初出品の方へ

支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

〔条幅解説〕師走、何かと慌ただしい毎日かと思
います。今月は取りつき易い楷書。わずかに
太、細を入れました。気楽に書いて下さい。た
だ、どの位の大きさが余白と調和するかがポイ
ントです。大きさを変えては吊り下げて見て下
さい。大きくなり過ぎないように。

台湾のお土産ありがとう 私も
学生時代の友人と韓国に行つて
きました評判の化粧品を送り
ます一緒にきれいになろうね

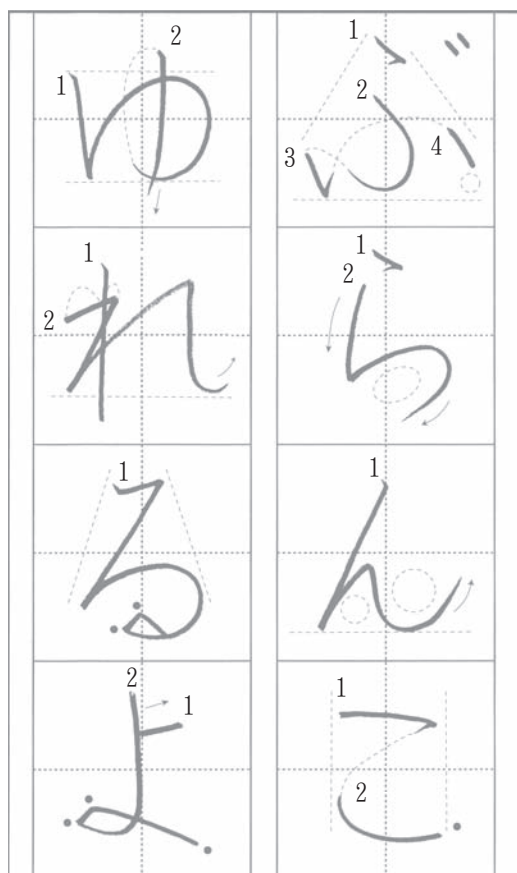
(ご自分の氏名)

・印で墨つぎしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

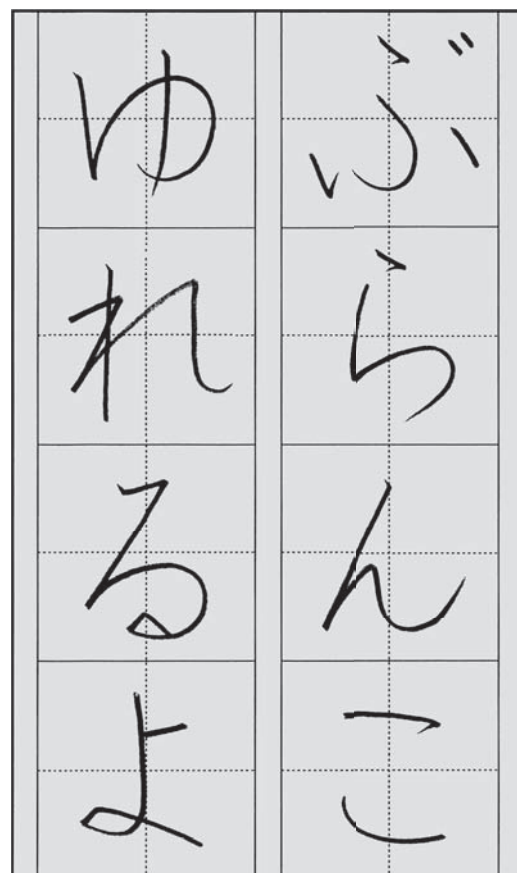
- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績(天位〜5等)は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

へようぐく自由(黒色にかざる)



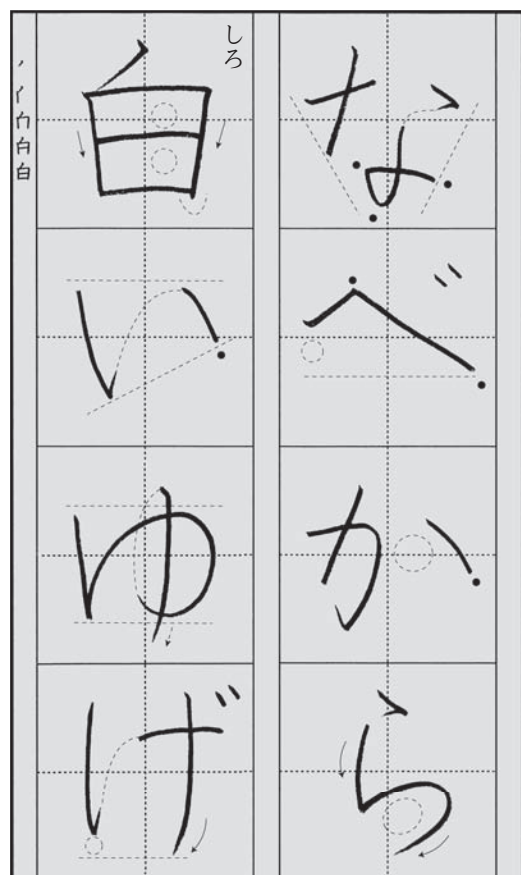
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



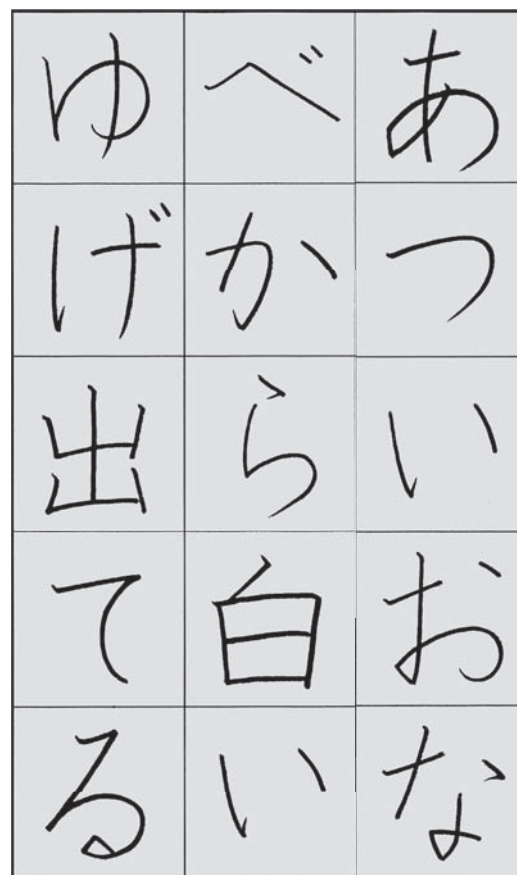
よ
う
年

幼年〜小三年まで
三宅容玉書



新入〜1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準初段以上

〈ようぐく自由〉(黒色にかざる)

一丁千玉玉	だま + 卓 朝 朝 朝	チヨウ 朝
	シヨク 食	
	へへ今 食 食	
	め 目	
	1 月 月 月	

新入1級

作	目	母
り	玉	と
ま	や	朝
し	き	食
た	を	に

準初段以上

小 二 年

一十 青 青 青	あお ノク 冬 冬 冬	ふゆ 冬
十 木 木 木 森 森	もり ノイ 休 休 休	やす 休
口 目 目 目 目 目	ケン み	
	へ	

新入1級

に	森	冬
行	県	休
き	へ	み
ま	遊	は
す	び	青

準初段以上

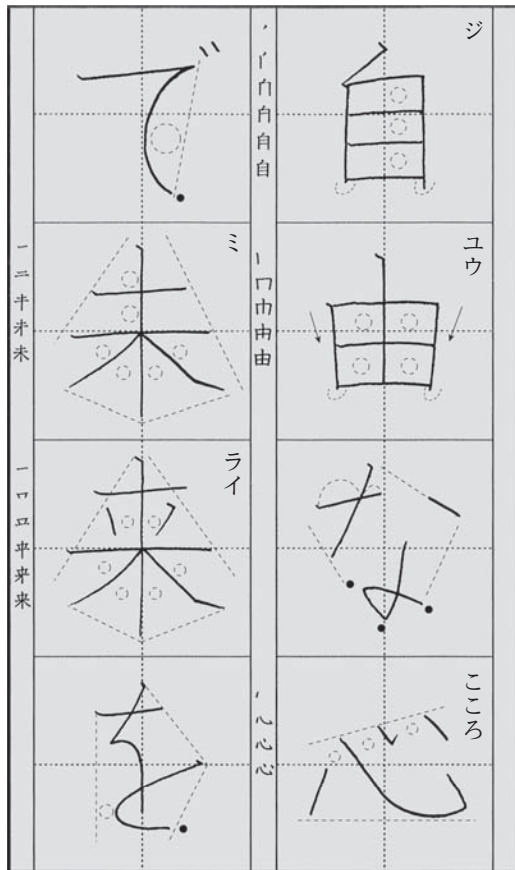
小 三 年

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

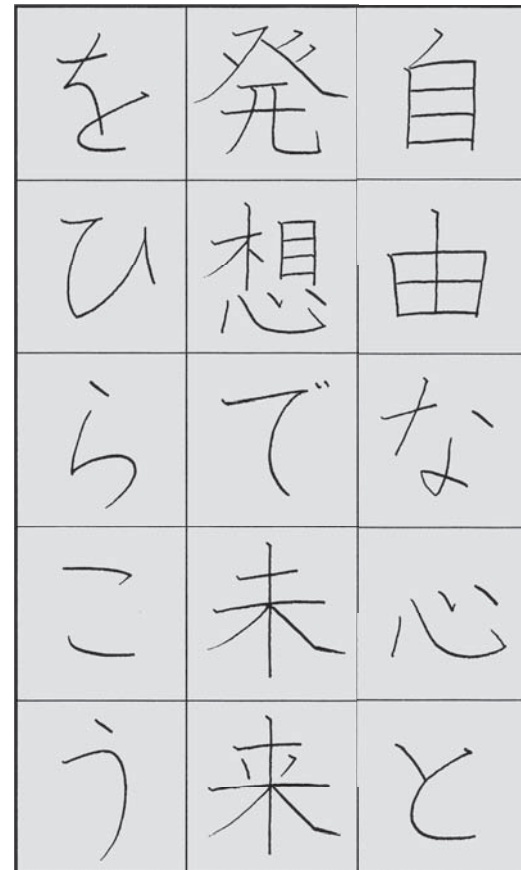
教育部硬筆課題

しめきり 12月20日(必着)

〈用具〉自由(黒色に限る)

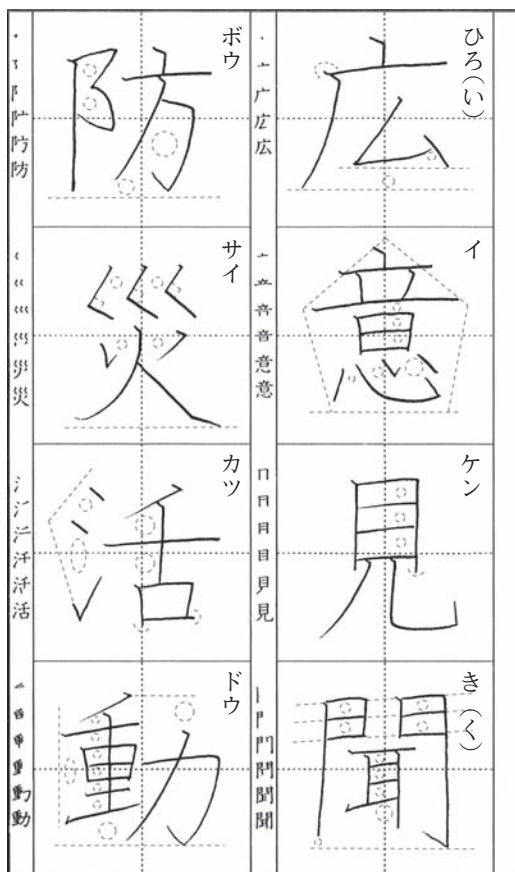


新入1級



小四年

準初段以上



解説(よく見て習いましょう)



小五年

(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

小四年以上 岡嶋桂川書

教育部硬筆課題

しめきり 12月20日(必着)

〈用具〉自由(黒色に限る)

イイイ竹作作	作	サク	いえ	家
ロロ品品品	大 小 中	ヒン	シユク	縮
オオ提提提	提	テイ	シヤク	尺
ーー出出出	出	シユツ	モク	木

解説(よく見て習いましょう)

を	た	家
提	木	を
出	工	縮
す	作	尺
る	品	し

小六年

(全員)

◎お手本はつけペン使用

土	で	重
器	あ	要
の	る	な
展	縄	資
示	文	料

中二・三年 (楷書)

計	確	試
画	認	験
立	し	範
て	学	団
る	習	を

中一年

(楷書)

▼小三年以下の課題 しょうむらのりか 庄村紀香 書

一	い			お	明
月	がつ	が	今	め	け
一	つい	ん	年	で	ま
日	たち	ば	も	と	し
		ろ	習	う	て
		う	字		
名	な		を		
ま					
え					



◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 12月20日(必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 しみずちせん 清水智泉 書

元				賀
	お	ご	皆	
旦	祈	健	様	正
	り	康	の	
氏	し	を		
	ま	心		
	す	よ		
名	めい	り		



◎お手本はつけペン使用

◇作品の出し方

- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。



幼年／小二年

玉たま
樹き
小しょう
華か
書



小五
聞意
く見

み冬
小三
休

中心
心
意
聞
冬
休
由

小四
な自
心由

小三～小五年
水野の香竹書

中二三
土縄
器文

小六・中二・三年
奥村暢之書

小六
提作
出品

画縄器
作提習

中
計学
画習

第67回 毛筆検定試験受験要項

12月26日締切り

■受験にあたってご注意

▼検定受験者は、十二月のすべての毛筆月例競書をお休み下さい。(短期特別課題は出品可)

▼一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

■出品方法

▼作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスでとじて下さい。

ただし教範コースは、上から、①漢字②かな③細字④教育部手本課題⑤条幅⑥書歴(初回のみ。詳細は本部へ問合せ)の順にそろえ、ゼムクリップでとじて下さい。

▼検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に分けて入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようにお願いします。

▼支局・支部には「検定作品出品明細書」を一月号配本時に同封しますから、所要事項記入の上、作品、受験料と同封して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。(振替、その他は不可)

●締切り 平成二十六年十二月二十日(本部必着)

●送り先 大書心会検定試験係

●発表 平成二十七年三月号

▼肉筆手本希望者は、毎月裏表紙掲載の先生へ、現金書留(返信用封筒同封)でお申込み下さい。

(左記料金は、一点についての金額です。ただし、コピー手本・添削料は半額といたします)

※条幅の原寸大のコピー手本はありません。

・一般部1級・三段コース

・活字課題 五段コース以上
会友コース以上

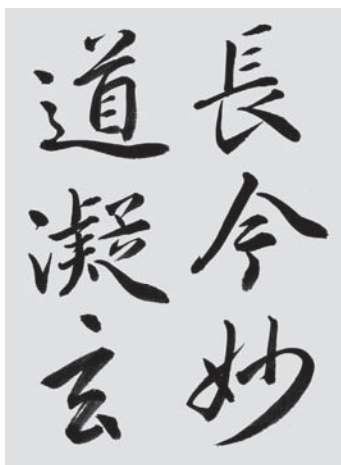
漢字半紙	細字・かな	漢字半紙	細字半紙	条幅	教育部
一、〇〇〇円	一、五〇〇円	一、二〇〇円	一、五〇〇円	三、五〇〇円	一、七〇〇円
八〇〇円	八〇〇円	八〇〇円	八〇〇円	八〇〇円	八〇〇円

◆一般部1級・三段コース

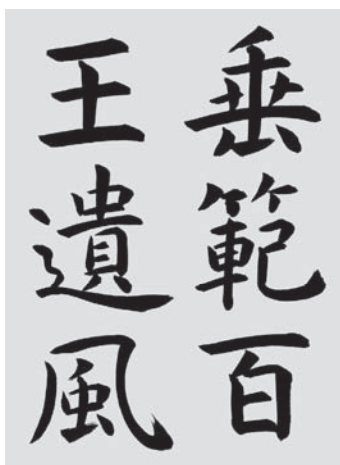
コース	課題	最高昇位	課題	漢字		かな	細字	計	受験料
				楷書	行書				
一般部	1級コース	1級まで	漢字は下掲課題 かなは月例級位課題	1	1	1	—	3	1,500
	三段コース	三段まで	漢字は下掲、かな・細字は月例段位課題	1	1	1	1	4	2,000

〔三段コース漢字課題〕

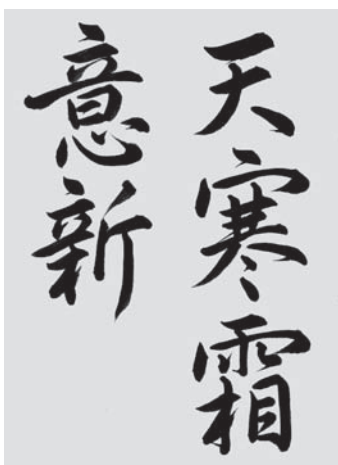
《集字聖教序》



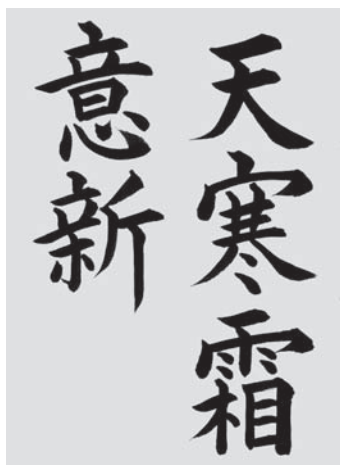
《孔子廟堂碑》



《行書》



《楷書》



天寒く霜意新なり

神谷葵水先生臨

須田一葉書

◆一般部五段・書範・教範コース

◆教育部普通・会友コース

コース	課 題	受 験 資 格	最 高 昇 級 段 位	課 題	漢 字			かな	細 字	条 幅	教 育 部 手 本	計	受 験 料
					楷書	行書	草書						
一 般 部	五 段 コース	有 段 者 支局・支部長	五段まで	下記（活字）	1	1	1	1	1	—	—	5	2,500
	書 範 コース	有 段 者 支局・支部長	書範まで	下記（活字）	1	1	1	1	1	1	—	6	3,000
	教 範 コース	書 範 支局・支部長	教 範	下記（活字）	1	1	1	1	1	1	2	8	4,000
教 育 部	普 通 コース	—	12月しめきりの月例競書課題									1	400
	会 友 コース	四段以上の中学生 準会友の小学生	12月しめきりの月例競書課題と下記活字課題（行書）									2	700

◎師範試験は、毎年2月に単独で実施しています。（P23 参照）



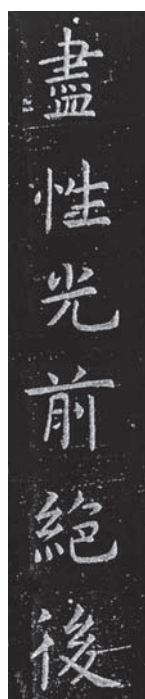
▼書 譜

義 獻 繼 之 又 云



▼集字聖教序

遵 之 莫 知 其 際



▼孔子廟堂碑

盡 性 光 前 絶 後

図版で示した三つの法帖の各六文字を、それぞれ半紙に臨書して下さい。

漢 字

五段コース以上共通（半紙）

五段・書範・教範コース課題

- 五段・書範・教範コース受験のきまり
- 一、五段・書範・教範コース受験は、上掲一覧表のとりの受験有資格者に限ります。
 - 二、教範コースは単位合格が認められますが、単位を取得されていても、受験の際は改めて全科目を提出して下さい。ただし、合格科目については、審査の対象から除きます。
 - 三、単位合格は、二年以上検定試験を受験しないと無効になります。



（行 書）

会友コース課題

- ▼十二月締切りの自分の学年の月例課題一枚
- ▼上の語句の行書一枚
- 計二枚を一組とし、右肩をとじて出品のこと。

※氏名は、各学年に合わせてお書き下さい。
（小1年はひらがなで書くなど）

小 1
お か

小 6
満 天
の 星

教育部手本課題 教範コースのみ（半紙）

講演ご依頼の件承知いたしました
貴重な機会をご提供いただき感謝
いたします 私に務まるかどうか
心許ないのですが頑張ります

細 字 五段コース以上共通（半紙）
次の語句を、行書または行草体で体裁よく書いてください。

残 星 数 點 雁 横 塞
長 笛 一 聲 人 倚 楼

条 幅 書範・教範コース共通（画仙紙半切）
次の語句を、画仙紙半切に体裁よく書いて下さい。

か な 三段コース以上共通（かな用半紙）
次の和歌を、かな半紙にちらし書きにして下さい。
◎冬ながら空より花の散りくるは
雲のあなたは春にやあるらむ（清原深養父）
※8頁参照